

被曝後のこれからを考える

今中哲二 講演会

飯館村の初期被曝線量評価の概要からみえてきたもの…

そしてストロンチウム90の汚染の行方

チェルノブイリの視察報告
西尾正道／吉田邦彦

2014年5月25日（日）

13:00 開場 13:30 開演～ 16:30 終了

場所：いわき市文化センター 4F 会議室

参加費：無料

福島原発事故から3年が過ぎ、4年目に入りました。

チェルノブイリ原発事故では4年が過ぎてから人々の健康被害の実相があきあらかになり始め、28年が過ぎた今も苦しみを続けています。

今まで、表にでてこなかった初期被曝のこと、そしてストロンチウム90の汚染について・・・

それは、被曝後のこれからを生きるために知らなければならない大切なことです。

昨年、飯館村で初期被曝線量の調査を行った今中哲二さんに、その概要と、そこからみえてくる福島の現実をお話していただきます。

これからの私たちの暮らしと、大切な子どもたちの未来のために、この度の講演会にぜひご参加ください。

また、この春、事故から28年が過ぎたチェルノブイリをそれぞれの専門分野から視察をされてきた西尾正道さん（国立北海道がんセンター名誉院長/放射線科医師）、吉田邦彦さん（北海道大学大学院法学研究科教授/民法）のお二人より視察の御報告を行っていただきます。

事故後の国による対応の違い、そしてチェルノブイリの今を知るために、こちらも合わせてお聞きくださいませ。

たらちね関係者一同、心よりお待ち申し上げます。

今中哲二（いまなかてつじ）プロフィール

京都大学原子炉実験所・助教。専門は原子力工学。

大学院時代より日本の原子力開発の在り方に疑問をもちはじめ研究者としては、原子力を進めるためではなく、原子力利用にともなうデメリットを明らかにするための研究に従事。広島・長崎原爆による放射線被曝量の評価、チェルノブイリ原発事故影響の解明、セミパラチンスク核実験場周辺での放射能汚染調査などを行っている。

また、東日本大震災・原発事故の後すぐにチームを作って、文科省よりも早く福島県の汚染線量を測定する為に飯館村に入り、福島原発事故にともなう飯館村の放射能汚染調査報告は、毎日放送のTV「その日のあとで～フクシマとチェルノブイリの今～」や、NHKのETV特集「ネットワークでつくる放射能汚染地図」でも、放送された。

著書：『チェルノブイリ事故による放射能災害—国際共同研究報告書』（編著）、技術と人間、1998、『チェルノブイリを見つめなおす—20年後のメッセージ』（共著）、原子力資料情報室、2006、『原発の安全上欠陥』（共著）、第三書館、1979 など多数



西尾正道（にしおまさみち）

1947年函館市生まれ。1974年札幌医科大学卒業。卒後、(独)国立病院機構 北海道がんセンター(旧国立札幌病院)で39年間がんの放射線治療に従事。2013年4月より、北海道がんセンター名誉院長、北海道医薬専門学校学校長、北海道厚生局臨床研修審査専門員。

吉田邦彦（よしだくにひこ）

1958年7月25日 生まれ。法学博士(東京大学)。北海道大学大学院法学研究科教授。民法専攻。民法理論研究も日米比較を通じて行っている。関係理論、とくに、所有理論に関する諸場面を扱うが、近時は、居住福祉法学、補償法、医事法、非営利団体、多文化主義ないし市民権(公民権)の問題の研究に従事である。

日時：2014年5月25日(日) 13:00会場 13:30開演～16:30終了

場所：いわき市文化センター 4F会議室

(〒970-8026 いわき市平字堂根町1-4)

☎0246-22-5431

アクセス：最寄駅 JR常磐線いわき駅 徒歩10分

<http://www.city.iwaki.fukushima.jp/map/1315/002551.html>

参加費：無料

主催：NPO法人いわき放射能市民測定室 たらちね

(〒971-8162いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3F)

TEL/FAX 0246-92-2526 Eメール tarachine@bz04.plala.or.jp

ホームページ：<http://www.iwakisokuteishitu.com/>

託児サービスのご案内



本講演では、託児サービスを実施しています。

【対象年齢】2歳～

【料金】無料(定員あり・先着順)

【申込方法】

5/21(水)16:00までにご連絡ください。

【お申込み・お問合せ】

Eメール tarachine@bz04.plala.or.jp

FAX 0246-92-2526

★必ず申し込みをされてください。

申し込みのない場合はお受けできません